

グラウンドワーク三島主催 全3回 各回参加者募集
SDGs 体験塾 「水の山・自然の宝庫・富士山」の四季を学ぼう

富士山学習「富士山の光と影」とは！

—環境・文化・歴史・まちづくりの視点から考える—

富士山が世界文化遺産に登録され今年で10年目となりました。果たして富士山は登録を本当に喜んでいるのでしょうか？コロナ後の国内外からの登山者による弾丸登山の増加と危険性の拡大、富士山登山鉄道建設による環境被害など問題山積です。悲鳴を上げる日本人の「魂」富士山の光と影を考えます。

会場 三島市民文化会館・大会議室（静岡県三島市一番町20-5）

講師



富士山を知り尽くす富士山学のエキスパート
渡辺 豊博 氏

元都留文科大学教授（富士山学開講）・農学博士
NPO法人グラウンドワーク三島専務理事・元富士山クラブ事務局長
2001年に富士山頂にバイオトイレを設置

日時 第1回 2023年9月2日(土)13:00~15:00

富士山の光と影①—富士山の魅力と課題を学ぶ—

第2回 2023年11月18日(土)13:00~15:00

富士山の光と影②—世界文化遺産登録の意義と課題を学ぶ—

第3回 2023年12月23日(土)13:30~16:30 富士山シンポジウム

富士山の光と影③—富士山保全のあり方を考える—

受講料：無料（全3回分）・当日参加歓迎 定員：80人

 ZOOMでも参加可能です。下記よりご視聴ください。

第1回ミーティングID: 898 4717 9385 パスコード: 331828

第2回ミーティングID: 871 0628 1128 パスコード: 119401

第3回ミーティングID: 895 8111 4728 パスコード: 848479



水ヶ塚からの富士山




北口本宮富士浅間神社

主催・問い合わせ先：NPO法人 グラウンドワーク三島（担当：美和）

〒411-0857 静岡県三島市芝本町6-2

TEL：055-983-0136 FAX：055-973-0022

Eメール：info@gwmishima.jp ホームページ：http://www.gwmishima.jp/

 National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

講義内容

第1回 富士山の光と影①—富士山の魅力と課題を学ぶ—



青木ヶ原樹海

富士山は世界的な価値を有する「世界文化遺産」であり、「日本の宝物」、「世界の宝物」でもあります。そこで、今の富士山の実態・現実を学ぶことによって、富士山の魅力と不思議を再認識するとともに、富士山の現場で起きている、深刻な環境被害やコロナ後の爆発的なオーバーユース問題の厳しい現状と課題・解決策について学びます。

2023年11月18日(土) 13:00~15:00 三島市民文化会館大会議室 第2回 富士山の光と影②—世界文化遺産登録の意義と課題を学ぶ—



ニュージーランド・トンガリロ国立公園

富士山が「世界文化遺産」に登録されてから、今年で10年が経過しました。「類い稀な世界的な価値を有す富士山の何が世界に認められて世界文化遺産に登録されたのか、何故世界自然遺産に申請しなかったのか、25の構成資産の価値とは何か、登録までの経過や登録の意義・意味」などについて学びます。

また、ニュージーランドやアメリカの世界遺産の山の環境保全の先進性などを学ぶとともに、世界の山で実施されている政策・対策との比較を通して、富士山が有する問題と今後の方向性や対策を考えます。

2023年12月23日(土) 13:30~16:30 三島市民文化会館大会議室 第3回 富士山の光と影③—富士山シンポジウム・富士山保全のあり方を考える—



富士山頂にバイオトイレを設置

これまで2回にわたる「富士山学習」で学んだ、富士山の環境や歴史、文化、魅力、課題などの学びを振り返りながら、「富士山シンポジウム」の開催を通して、富士山に係る、鳥・植生・森林・動物などの専門家からのプレゼンテーションと相互の議論を行い、富士山の今後のあり方や対策への提言をまとめます。

なお、現在、話題となっている富士山登山鉄道の建設、弾丸登山、登山者規制、入山料の徴収、地下水の汲み上げなどについての多様な問題についても、意見交換を行うとともに、市民・国民・環境団体として、新たな環境保全運動を組織化して胎動させるかについても話し合います。